



2021 年 12 月 7 日  
救急ヘリ病院ネットワーク

## HEM-Net シンポジウムにおいて「第 2 種 D-Call Net」の発表を行います

HEM-Net は、交通事故におけるドクターヘリの迅速な出動の拡大を図るため、通信型ドライブレコーダーによる事故自動通報サービスを元に、新たに世界初となる画像活用型救急自動通報システム(第 2 種 D-Call Net)を研究開発し、2022 年度に試験運用、2023 年度に本格運用を行います。

認定 NPO 法人救急ヘリ病院ネットワーク(HEM-Net)は、交通事故負傷者の救命・後遺症軽減のため、交通事故時にドクターヘリの迅速な出動要請のための通報をすることができる「救急自動通報システム」(D-Call Net)を開発、2018 年から運用し、2021 年 9 月末現在約 300 万台の乗用車が搭載しています。

これまでの車載型救急自動通報システム(第 1 種 D-Call Net)は、車載の事故情報計測・記録装置(EDR)から自動送信されたデータをアルゴリズムにかけて瞬時に予測した死亡重傷確率に基づき、コールセンターのオペレーターが車両位置情報、死亡重傷確率などを通話内容とともに消防機関とドクターヘリ基地病院に通報してドクターヘリの出動要請の連携を容易にすることにより、ドクターヘリの迅速な出動ができる仕組みです。

2021 年 12 月 7 日に開催される HEM-Net シンポジウム『救急自動通報システム(D-Call Net)の「これまで」と「これから」』では、これまでの車載型(第 1 種)D-Call Net に加え、新たに研究開発している画像活用型(第 2 種)D-Call Net を発表します。

(ホームページ: <https://hemnet.jp/>)

第 2 種 D-Call Net は、損害保険会社が運用している任意自動車保険の附帯サービスである事故自動通報サービス(2021 年 9 月現在約 120 万台)を土台とした性能向上により D-Call Net 機能を搭載するため、これまで搭載が困難であった軽自動車を始めとする既販車にも搭載できます。また、通信型ドライブレコーダーからの画像情報を利用するため、歩行者や自転車などの交通弱者も新たに通報対象にできるなど、ドクターヘリの出動要請の対象拡大に大きく寄与するものと思われます。

第 2 種 D-Call Net は、2022 年度に一部のドクターヘリ基地病院と消防機関における試験運用を経て、2023 年度からは全国において順次本格運用を予定しています。

### 【問い合わせ先】

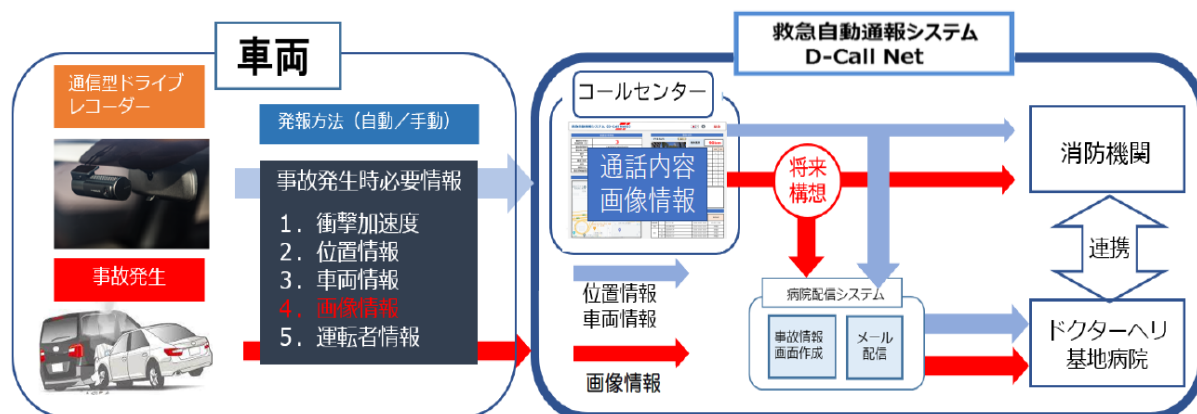
認定 NPO 法人救急ヘリ病院ネットワーク 担当:宮寄、石川、小松  
Tel:03-3264-1190 Mail:jimu@hemnet.jp

## 第2種D-Call Net発動方法 検討中

D-Call Net対応の通信機能付きドライブレコーダーを後付けで備えた自動車が衝突して一定以上の衝撃を受けると、画像情報や位置情報等のデータが自動的に発信され、コールセンターと電話が繋がる。

コールセンターは、通話内容と画像情報から重大な事故と判断した場合には、消防機関とドクターヘリ基地病院にD-Call Net情報を通報する。（当面は接続機関だけが画像を確認し、判断結果のみを送信。将来は画像も検討）

消防機関は、D-Call Net情報を元にドクターヘリ基地病院と連携し、ドクターヘリの出動を要請する。



## （参考）第1種D-Call Net発動方法 運用中

D-Call Net対応の専用通信機を新車から備えた自動車が衝突してエアバッグが作動すると、事故情報計測・記録装置（EDR）の衝撃度や位置情報等のデータが自動的に発信され、コールセンターと電話が繋がる。

コールセンターは、応答が無い場合又は通話内容から通報が必要と判断した場合には、消防機関とドクターヘリ基地病院にD-Call Net情報を通報する。

消防機関は、D-Call Net情報を元にドクターヘリ基地病院と連携し、ドクターヘリの出動を要請する。

